

現場に足を運び肌にしたニーズに応えます！

# あおしかくにお

## 活動報告レポート vol. 7

会派：つなぐプロジェクト



発行  
つなぐプロジェクト 青鹿公男  
東京都台東区東上野4-5-6  
台東区役所7階

### 平成30年 第3回定例会報告

9月10日から46日間にわたって開催された第三回定例会は、平成29年度台東区各会計歳入歳出決算の認定のほか、約8億3千万円の一般会計補正予算(第3回)や「政治活動用ポスターの自粛に関する決議」など議案17案件を可決し、10月25日に終了しました。

「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

### 平成29年度 台東区各会計決算を認定

決算特別委員会は、議会で承認された予算が、「如何に効率的効果的に予算が執行されたか、翌年度にどう反映させていくか」を審議する、極めて重要な役割を持っています。

今定例会では、「平成29年度一般会計」のほか、「国民健康保険事業会計」「後期高齢者医療会計」「介護保険会計」「老人保健施設会計」「病院施設会計」など5つの特別会計の歳入歳出決算が、決算特別委員会での5日間の費目別質疑や、区長との対面方式で行われる総括質疑を経て、10月25日の本会議にて認定されました。

一般会計決算における歳入は、主要収入源である**特別区税**が、前年度を約5億円も上回る**約215億円**。**地方消費税交付金**は、消費動向による増などにより、対前年度で**約3億円の増額**。**特別区交付金**は、財源である法人住民税の減等があり、対前年度で**約7億円の減額**となってしまいましたが、**歳入総額は前年度より約21億円の増**となり、区政史上2回目の**1000億円**を超える結果となりました。

しかし、ふるさと納税の広がりや喫煙者減少の影響で特別区民税等の減収が危惧され、また、法人住民税の更なる国税化が特別区交付金に与える影響は深刻です。歳出では、子育て支援対策への経費の増加や、施設の老朽化対策、高齢者対策などの課題も多く、今後も更なる経費の増加が予想されます。

リーマンショック後とは要因が変化していますが、「区の財政状況は、予断を許さない状況」です。

特別会計を含む全会計では、歳入の増額等の効果により、当初予算で計上していた基金の活用を約21億円取り崩すことなく、約20億円積み増すこともできて、**基金残高は約458億円**。区債は、約22億円を活用しましたが、約17億円を返済しており、**残高は約146億円**となりました。

行政計画事業の達成率が約8割だったことに、若干の物足りなさを感じますが、この決算年度においても、しっかりと行財政基盤の強化に努めていると評価し、**29年度決算を認定いたしました**。

今後とも、**すべての世代の人たちが住み続けたいと思える台東区**をめざし、行政サービスのより一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。

### 『政治活動用ポスターの自粛に関する決議』を可決

政治活動用ポスターが無秩序に掲示されることは、街の美観を損なうとともに、クリーンな選挙の実現を後退させることにもなりかねません。よって区議会は、立候補予定者の氏名や写真等を表示した政治活動用ポスターについては、平成31年4月30日の任期満了に伴い執行される台東区議会議員選挙の告示日まで、一切これを自粛することを決議しました。これによって現区議会議員はポスターは貼れなくなりました。



## 1. 福祉的就労をしている障害者の方への支援の充実について

福祉作業所で働く障害者が、働くことの喜びや達成感を得ながら、地域の中でいきいきと安定した生活を送るためには、付加価値の高い商品の開発などとともに、**販路を拡大し、工賃向上へ繋げていくことが必要である**。現在、福祉作業所では、ビスケットを始め、革製品、布草履、ビーズアクセサリ、コースターなども作られ販売されていますが、福祉作業所で作られる商品について、今後、どのような対応を行っていくのか、区長の所見を伺う。

### 区長所見

就労は収入を得る手段であるとともに、社会貢献や自己実現の場でもあり、障害の有無にかかわらず、いきいきと安定した生活を送るためには不可欠なものと認識しています。

そのため、福祉作業所で働く障害者の意欲をより高め、生産活動の対価として得られる工賃の向上を図ることは、大変重要であると考えます。

区では、先般、就労支援室及び区内の福祉作業所の代表者で構成される自主製品の付加価値化などを検討するプロジェクトチームを設置いたしました。

その中で、先進自治体の情報収集をするとともに、産業振興事業団の商工相談において、中小企業診断士のアドバイスを受けるなど、今後の方向性について、検討を始めたところです。

販路の拡大とともに付加価値の高い商品開発等を具体的に進めていけるよう、引き続き取り組んで参ります。



## 2. 近隣型商店街の振興について

近隣型商店街の個店は、**後継者や従業員の不足のため、日々の商売に追われて、研修やセミナーに参加できず、新しい助成金等の支援情報も取得することが難しい状況で、支援体制があっても、導入検討が十分に行えないため、新たな1歩が踏み出せないのが、近隣型商店街の店舗の現状と認識**している。そこで、個店経営者支援に着目した近隣型商店街振興に取り組むべきと考えるがどうか、区長の所見を伺う。

### 区長所見

近隣型商店街の個店の中には、後継者や従業員の不足に伴い、経営者の負担が増大しているところもあります。

そのため、個店の経営力を強化するなどのサポートや支援体制が重要であると認識しています。区では、今年度より、先進事例や公的支援制度等に精通した専門家を商店街に派遣しています。個店に対しても、それぞれが抱える経営上の課題解決や、新たな取組みへの後押しを行っています。

また、個店の経営者が集まって開催する「まちゼミ」を支援し、店の魅力発信や経営者同士の連携強化を図っています。

今後とも、商店街の個店がますます元気になることで、近隣型商店街が活性化し、地域経済の活力が高まるよう全力で取り組んで参ります。

## ●活動報告●

### ●平成30年台東区政報告会を開催

9月20日(くにおの日)に昨年に引き続き生涯学習センターのミレニアムホールにて区政報告会を開催致しました。当日は雨にも関わらず各町会長をはじめ約150人の方がお集り頂きました。台東区の課題や災害対策などについて御報告させて頂きました。



### ●毎年恒例の浅草バスケ祭り開催

11月18日にリバーサイドスポーツセンターにて4回目となる「浅草バスケ祭」を開催いたしました。2020年東京オリンピックの新種目として採用が決定した3人制バスケットボール3x3の更なる普及と小、中学生を中心に大会を通じ実際に体験、観戦をすることで今後のバスケへの取り組み、意識向上へと繋がります。



## 所属委員会

- 現在 企画総務委員会 副委員長  
交通対策・地区整備特別委員会  
台東区土地開発公社評議員会
- 前回 区民文教委員会  
子育て支援特別委員会  
環境・安全安心特別委員会  
議会広報委員会  
台東区土地開発公社評議員会

## あおしかくにおのプロフィール

- ◆1968年8月15日生 申年  
萬隆寺幼稚園卒業  
台東区立金竜小学校卒業  
台東区立台東中学校卒業  
東海大学付属高輪台高等学校卒業  
東海大学工学部経営工学科卒業  
株式会社 丸井 入社  
2015年5月より台東区議会議員  
無所属 会派:つなぐプロジェクト
- ◆過去の経歴など  
台東区立金竜小学校PTA 会長  
台東区立金竜幼稚園顧問  
浅草芝崎町西町会青年部部長  
西部16ヶ町連合会副会長  
  
趣味:旅行、筋トレ、プロレス観戦  
尊敬する人:ビートたけし  
好きな食べ物:アンズ、うまい棒